

学校関係者評価報告書

愛媛県立大洲高等学校肱川分校

学校番号 (30)

評価実施日		令和6年2月21日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	安川 哲生	地域代表 大洲高等学校肱川分校同窓会長	
	兵頭 勇太	地域代表 大洲市肱川郵便局長	
	上田 利江	肱川分校 P T A会長	
	菊池 正敏	肱川分校 分校長	
	富田 晶子	肱川分校 総務課長・生徒課長	
	藤原 治永	肱川分校 教務課長	
	石川 幸代	肱川分校 特活課長・研修課長・人権同和教育課長	
羽浦 賢司	肱川分校 進路課長		

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業に関するアンケート結果について <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導については、知識や理論だけでなく、経験者の体験談などを通して、なぜ事故が起こったか、防止のためにどうすべきかを考えさせる機会を設けると良いのではないかと。 交通事故の予防については、今後も継続した指導をお願いしたい。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路について <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果から、部活動に関してマイナス回答が多いのが気になる。生徒が前向きに取り組めるような工夫が必要である。 <p>(5) 保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの結果から保護者と生徒の関わりがやや希薄であるように感じる。学校の情報がしっかりと保護者に伝わる工夫をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業に関する項目について、プラスの回答が96%とかなり高い評価となった。ティームティーチングなどにより支援を要する生徒へのきめ細かい授業ができています。学び直しの時間を設ける工夫を継続しながら、新しい知識の習得にも取り組みたい。 毎年原付通学生を対象に自動車教習所で交通安全講習会を実施している。教習所の教官による講義や白バイ隊員による実技指導など、幅広く交通安全について学習している。原付通学生以外の生徒に対する交通安全指導についても体験談など生徒が主体的に学べる学習方法について研究を進め事故防止に努めたい。 4年次の職業実践活動期間を利用して、アルバイトを通じて職業に対する適性や理解を深めながら、資格取得や入試対策などを行った結果、希望した4年制大学、短期大学、専門学校への進路を決定することができた。今後も進路ガイダンスや職場見学などのキャリア教育を充実させ、進路実現に努めたい。 部活動については、毎年全国大会に出場するなどの成果が出ているが、アンケートではマイナス回答も目立っている。生徒の部活動に取り組む意識に大きな差があるものとする。多くの生徒が充実した活動になるように活動内容について工夫するとともに、部活動の意義についてもしっかりと考えさせる指導をしていきたい。 学校での活動の様子が、しっかりと保護者まで伝わるような情報提供に関する取組を進めるとともに、保護者が行事などを通して、学校や生徒と係わりやすい工夫をしていきたい。
<p>2 学校評価アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から生徒と保護者の差を感じる。子どもと保護者とのコミュニケーションは、子どもが入ってほしくない領域や距離感など非常に難しいところがあるのではないかと。 分校の活動は大変きめ細かな指導をされており、保護者はとても良い印象を受けているということが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートについては、生徒・保護者ともにプラスの高い評価を頂き、有り難く感じている。アンケート結果からは、生徒の自分自身に関する評価の低さと、保護者の我が子に対する期待度の高さが目立つ。学校は、生徒や保護者の気持ちに寄り添いながら、あせらず、じっくりと生徒の自己肯定感を高める経験をさせていきたいと思う。
<p>3 学校経営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 今の分校生は、少人数の中で一生懸命に関わってくれる先生方がいて大変恵まれていると感じる。保護者がさらに関わってくれる機会が増えれば、もっと良い場所になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校までに不登校を経験した生徒や、人とのコミュニケーションが苦手な生徒が多い中、少しずつ学校に慣れ、本来の自分を表現し成長していく生徒の姿を見ることが、教職員一同のエネルギーの源である。多くの保護者に協力いただき、様々な行事を作り出す肱川分校の教育が生徒の成長に良い影響を与えていると感じている。今後も様々な工夫をこらし、保護者の方々に学校での活動に参加いただくよう努めたい。